



漢塾 コア打ち名人

関戸拓司

2026.03.29

ポイント

1 から設計するのではなく、“型”を選んで調整することで、エスキス時間を短縮

プロセス

① アプローチとゾーニング

利用者と管理者のアプローチを計画し、大枠のゾーニングをする

② “型”の選択

自分が持っている“型”を選択し、コアと廊下の位置をイメージする

③ コア打ち

大空間、吹き抜け、屋上庭園を避け、コアを打つ

法規対応

✓ 重複距離をオーバーしないコア打ちの基本型を覚えることが重要

✓ 道路斜線に塔屋が当たらないようにコアの位置を調整

★★★ R07

平入1-1-2

ポイント

最も汎用性のある基本型

1F

2つのコアを中心線の左右に配置して重複距離を短く

道路 (広)

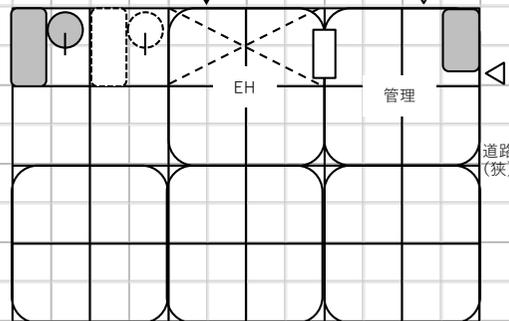
コア、吹き抜け、WGなどのユーティリティレーン

1

1

2

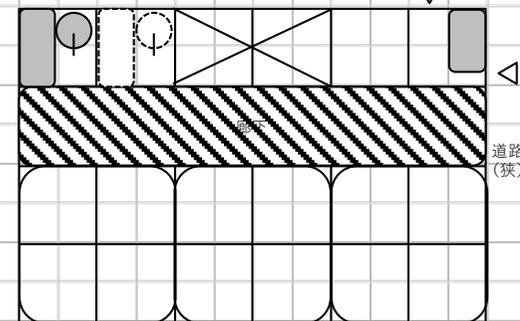
主要な要求室が入るレーン



2F

道路 (広)

大きな室を奥から入れるのがポイント



★

平入2-1-1

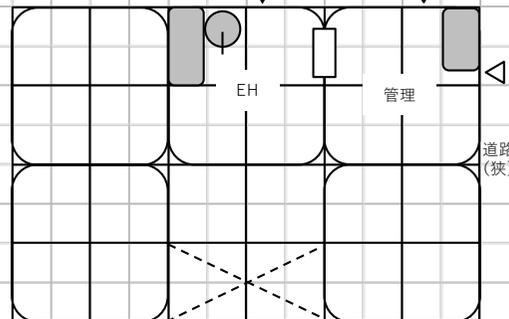
1F

道路 (広)

2

1

1



2F

道路 (広)

2F以上の階の廊下レーン

